

様式1

令和7年度 第1回学校運営協議会報告書

学校名	鳥取県立鳥取盲学校
開催日時	令和7年6月13日（金）
会 場	鳥取盲学校会議室

※会長選出…竹信純一さんに決定した。

※参加者…資料にある6名に加え、特別支援教育課山本指導主事がオブザーバーとして参加された。

1 学校経営方針について（岸田校長）

- ・R7年度学校運営方針について校長が説明し、了承をいただいた。

【御意見・御要望】

- ・特になし

2 学校自己評価に係ることについて（評価報告書）（南部教頭）

【御意見・御要望】

- ・特になし

3 地域学校協働活動の取組について（吉田主幹教諭・倉光小中学部主任・南部教頭）

【各委員さんより】

- ・公民館との活動では学校から声がかかったら受けている状況です。公民館での事業は料理教室が多かったり、昼間の取り組みが多かったりするので児童生徒の参加は難しいと思っている。作品展示ではエリアを広げてもらおうとありがたい。公民館マッサージはまた今年もやってもらえるとありがたい。（石本委員）
- ・サポーター登録が増加して12名になったということで広がったり、若返ったりした感じがしている。ボランティアよりもサポーターという名称になり、一緒に活動しやすい感じになったらいいと思う。（山崎委員）
- ・卒業生が理療の仕事でつまずいた時のために、鍼灸師会に入ってもらおうとサポートしやすいと思う。相談があれば助言はするのでぜひ訪ねてもらいたい。鍼灸師会主催の研修会を年2回行っているため、学校にいる会員を通して案内をして、教職員や生徒の皆さんにも参加してもらいたいと思う。（山下委員）

【御意見・御要望】

- ・学校運営協議会の存在を知らない保護者もいるので、この会で話されたことなどを共有してもらえるとよいと思う。（太田委員）
- ・大学進学に向けた学力評価をどのようにしているか。勉強に困ったときに限られた時間の中でどのようにしているか。（竹信会長）

⇒一人学級の共通テーマでもあると思うが、客観視する取組は外部模擬試験、放課後の補充を工夫して取り組んでおり、本人の希望に沿って1～1時間半行っている。ただし、同級生との会話の中での自己理解や工夫などは難しいので情報提供をして補っている。

- ・スポーツ活動が卒業後に社会に出るとなくなる。大人になっても続けられる状況があるので、学校ができることはないだろうかと思うところがある。(竹信会長)

⇒米子にはS T Tの卓球台はあるが、東部にはないと思う。あるといいなと思うので、学校からも県のスポーツ協会に働きかけていきたいと思う。(岸田校長)

様式4

令和7年度 学校運営協議会評価報告書1

鳥取県立鳥取盲学校

学校長 岸田 裕子

評価日	令和7年6月13日（金）
評価・提言	学校の所見・改善策
1 目標設定について なし	
2 評価項目と目標達成のための取組について なし	
3 具体目標について なし	
4 目標達成のための具体方策について ・県内9校の弱視学級があり、夏には交流会があると思うが、回数を増やすとつながりもできていくと思う。今日の岡山盲学校とのオンライン交流のようにオンラインでの交流が出来るといいなと思う。	4. 弱視学級の先生とのクラスルームがあるので、前向きに検討していきたい。 ・11月4日の研究会では弱視学級の保護者さんにも案内を出していきたいと思っている。
5 その他 なし	